

第11回 いっちみろや

オータム
フェスタ
Autumn festa
2019

ふれあい祭

にぎやかな
食と文化の祭典

旭化成延岡OB会の食と文化の祭典オータムフェスタ2019「いっちみろや ふれあい祭」は、令和元年11月9日(土)カルチャープラザアートギャラリーの趣味の作品展で幕を開け、翌日10日(日)の2日間ともに天気に恵まれ、多くの来場者(約5,000人)で賑わいました。

メイン会場は、午前中より好調な出足で、ステージイベントや地場特産品の販売など大盛況で「じゃんけんゲーム」や「餅まき」など会場が熱気あふれたものとなりました。

オープニングセレモニー



琉星會のエイサーで幕開け



城山かぐらの舞い込み



オープニングで挨拶をする小野会長



四倉フラダンス



くつろぐ来場者



キッズダンス



餅まき



勇壮な和太鼓の演奏

市役所前のメイン会場でのオープニングセレモニーは、お祭り共催の「城山かぐら」との合同開催でした。お祭りの前振りは、今年初参加の宇納間の「エイサー琉星會」の目が覚めるような大きな太鼓演技のエイサーで幕をあげたあと、小野雅春OB会長と山崎洋一城山かぐら実行委員長からの主催者挨拶に続き、山本一丸延岡市副市長、吉玉典生延岡商工会議所会頭、濱井研史延岡支社長からお祝いの言葉がありました。

その後、吉田敏春延岡市区長連絡協議会会長、松田和己延岡市市議会議員、後藤智明旭化成労組中央執行委員長が加わり8人でのテープカット、そして松田和己延岡市議会議員による「乾杯」でオータムフェスタ2019「第11回いっちみろやふれあい祭」が開始されました。

その後、昨年同様に城山から舞い降りてきた「かぐらの舞い込み」は、各地区のかぐら保存会の皆さんによる堂々と、又、厳粛な舞は、開幕にふさわしい光景で、来場者の皆さんも感動した様子でした。

野外ステージ

プログラムは、昨年もトップを飾った四倉フラスタジオの華やかなフラダンスを皮切りに、キッズダンス、三味線演奏、カントリーダンス、ばんば太鼓演奏、ハワイアンウクレレ等に続き、延岡の寅さんも女性の下着のプレゼントなどで会場を沸かせました。

午前の最後のじゃんけんゲームでは仲よしこよし会の山崎まり子会長と、西村みよ子副会長が大活躍で、西村副会長がマイクを握り、山崎会長が手作りのグー、チョキ、パーの大きい手でお客さんとのじゃんけんゲームを盛り上げました。

中入り後も、城山かぐら保存会や大正琴、和太鼓、ヒップホップダンスなど延岡の市民の皆さんによる熱演が繰り広げられました。

午前の部の最後と、エンディングセレモニーで行われた「餅まき」も、けが人もなく沢山の餅ひろいで大賑わいでした。



かわいいキッズダンス



延岡の寅さんから何貰ったのかな



軽トラ市で物品を購入



出店も大にぎわい



じゃんけんゲームの様子



観客席から野外ステージをみる来場者



仲よしこよし会の
キューアサ製品販売也大賑わい



うどん店には行列

カルチャープラザでは2日間の趣味の作品展

カルチャープラザ2階のアートギャラリーでは、11月9日(土)の午前9時から趣味の作品展を開きました。

実行担当部場は恒富OB会でしたが、今回も前回に負けず劣らず素晴らしい作品がそろいました。

生け花、アレンジフラワー、パッチワークと続き、陶器、書、写真、絵画、短歌、手芸品、自慢の珍品等、OB会の趣味のサークル活動の方や、OBのご家族の方など出展、作品を見ながら笑顔で説明。出してくれた人と見に来てくれた人との豊かなふれあいの場でもありました。

初日から盛況で、2日間で約1,000人の来場者でした。



アレンジフラワー



絵画クラブの力作



作品に見入る来場者



陶芸とパッチワーク



批評中の来場者

沢山の台風義援金、ありがとうございました

今回のオータムフェスタでは、「OB会館内」、「カルチャーセンター趣味の作品展会場」「市役所前のメイン会場」に先に発生しました台風17号による延岡の竜巻被害、台風19号による関東地方の被害の義援金募金箱を設置し、御協力を頂きました。沢山の義援金を頂きありがとうございました。

義援金募金の66,257円は仲よしこよし会のバザー売上金全額(37,743円)と合わせて、11月18日に夕刊デイリー新聞社を通じて延岡市役所内竜巻義援金に52,000円、台風19号被害義援金として日本赤十字社に52,000円、合計104,000円を託しましたので御報告いたします。